

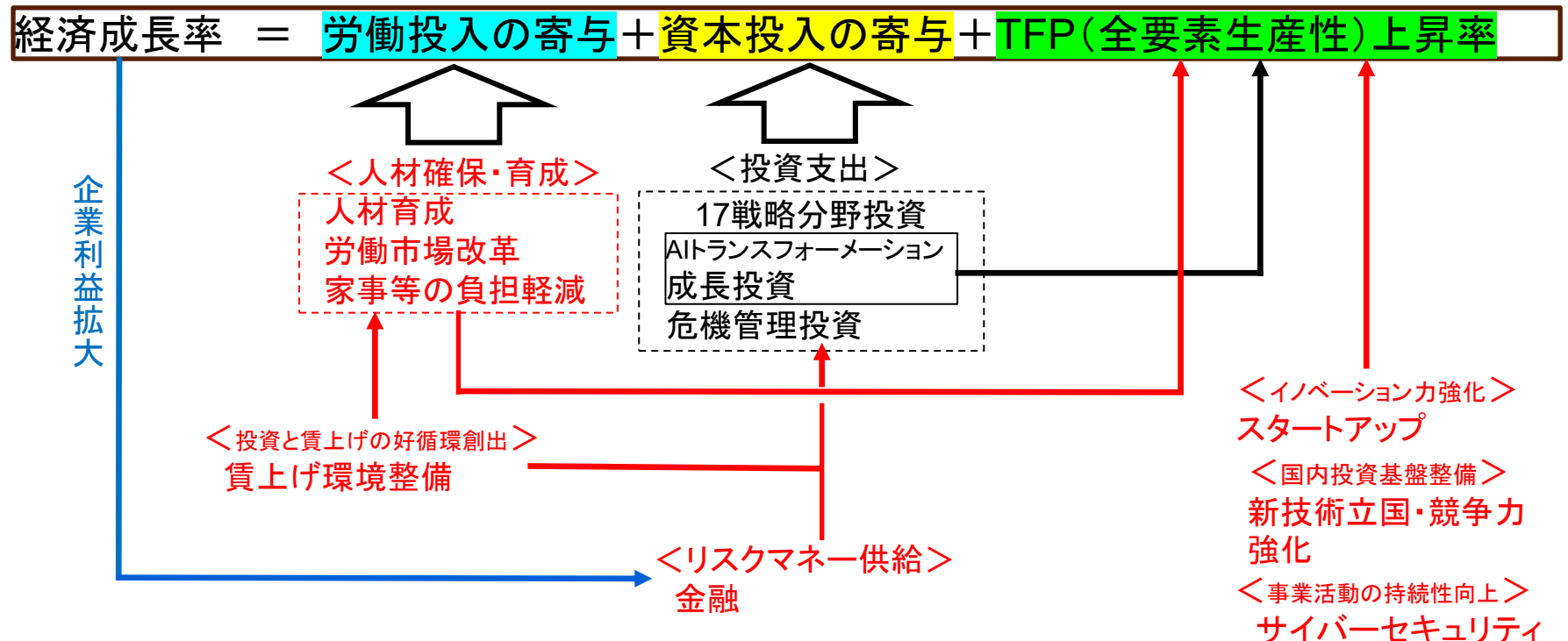
分野横断課題の対応の方向性について

片岡 剛士

2026年 4月22日

分野横断課題と17分野との関係

- ✓ 日本経済に圧倒的に足りないのは国内設備投資。官民連携で「危機管理投資」「成長投資」を行うことで供給力を高め、所得の伸びを高めて、支出との好循環をはかっていくことが重要である。
- ✓ 17の戦略分野と分野横断課題は以下のような形で労働投入、資本投入、生産性に対し相互補完的に作用することで、日本経済の成長を高めると考えられる。



分野横断課題と17分野との関係(続)

- ✓ 具体的に見ていくと、①人材育成、②労働市場改革、③家事等の負担削減は労働投入拡大と生産性向上に、④リスクマネー供給は、成長投資の重要なエンジンとして資本投入拡大に、⑤スタートアップ、⑥新技術立国・競争力強化、⑦サイバーセキュリティは生産性向上に、⑧賃上げ環境整備は労働投入拡大と資本投入拡大にそれぞれ寄与することが期待される。
- ✓ これら論点に加え、今後具体的な検討が必要なのが、17分野の成長・危機管理投資を、日本のa)どの地域に、b)どのタイミングで、行っていくかという点である。
- ✓ a)どの地域に、については、将来の人口動態を念頭に置いた国土計画、産業クラスター戦略と連動させる形で成長戦略を構築する必要がある。
- ✓ b)どのタイミングで、に関しては、事業性・採算性の有無等を軸とした官と民の役割分担や投資計画の設定を弾力的に行っていくことが必要となる。
- ✓ 「強い経済」を作る産業政策は、今後の日本の国柄をどういうものにするのかといった点にも多いに関係する。「自律性」「不可欠性」を有する製品・技術群の国内使用を促進する法的枠組みといったものも必要。